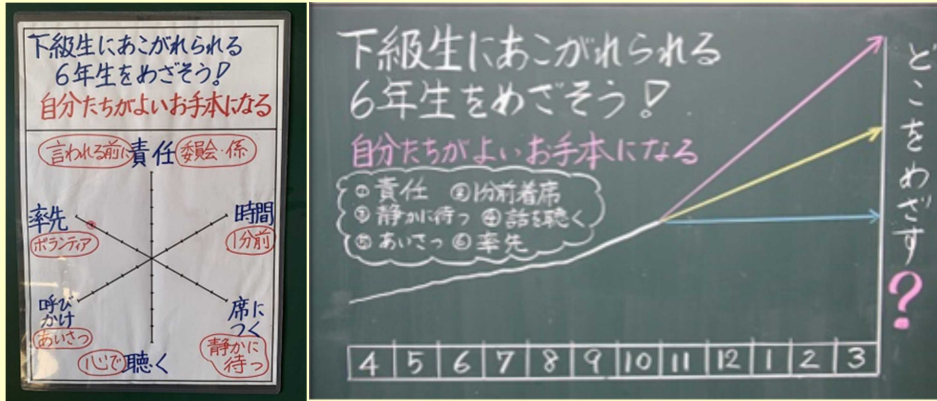


会津美里町立本郷小学校 実践研究テーマ「自己を見つめ共に認め合い、主体的に活動に取り組む児童の育成」  
～郷土のよさを生かした活動、キャリア・パスポートの活用を通して～

(1)高め合う人間関係づくり 学級活動(2)の取組

- 題材名 よりよい学級・学校を目指して 6学年の実践
- 本時のねらい  
卒業時の自分たちの姿を話し合って可視化し、それを振り返ることにより成長を確認し、共に高め合うことができるようにする。
- 本時の概要  
学級目標を卒業時の自分たちの姿をイメージして話し合うことで、6つの具体的な目標を設定することができた。年間を通して定期的に振り返ることで、自分たちの弱点を克服し最上級生としての自覚を高めた。(学級目標の掲示と活用について共通理解を図った)



異学年交流

児童会や学校行事では縦割りグループの活動を通して、潤いのある学校生活にするとともにそれぞれの学年に応じた役割に取り組んだ。



(2)自己肯定感を高める教育活動 「道徳科」の取組

- 主題名 「自分にもあるよさ」 A (4) 個性の伸長 2学年の実践
- 本時のねらい  
自分のよさについて話し合うことを通して、さらに自分のよさを伸ばそうとする心情を育てる。
- 本時の概要  
友だちや先生、母親からよいところを教えてもらった主人公の心情について考えた。友だちや保護者からのメッセージを担当から紹介し、より実感を伴って自分のよさに気づき自信を深めることができた。(自己肯定感を高めることにつながった)

<多面的・多角的に考える>

友だちからのカード、保護者からの手紙を読む活動を通して、自分のよさに気付いた。また、教師が学校生活の中での一人一人の児童のよさを紹介することで、自他のよさについての考えが広まった。



<自己の生き方の考えを深める>

ワークシートの「心のものさし」や「まどめ」への記入で、学習を振り返り、自己を見つめ自分のよさについて考えを深めた。

(3)郷土のよさを生かした活動 生活科・総合的な学習の時間の取組

地域の人材・産業・豊かな自然を生かした教育活動を展開した。「生活科」では木工体験を、「総合的な学習の時間」では森林探索を、森の案内人の協力で森林環境学習として取り入れた。また、3年生ではりんご農家の見学、5年生では稲作体験を通して、地域の産業を体験的に学ぶことができた。6年生では、地域の史跡や偉人についての学習を進めた。地域のよさを体験的に学ぶことで、アイデンティティー（自分らしさの理解）の確立に寄与することができた。



森林環境学習（木工体験・森林探索）



産業体験学習（りんご農家・稲作体験）

(4)キャリアパスポートの活用（学活・道徳科との関連を図り）

キャリアパスポートをポートフォリオとして有効活用するため、特別活動（学活や各種行事等）と道徳科と関連させて1年間の取組をファイリングし、振り返りができるようにした。

- 「自分自身の成長の振り返り」は学期ごとのめあてと反省をもとに1年間を振り返る。（学活）
- 「行事等の反省の記録」は、がんばりカード等をもとに、自分自身の成長の振り返りを残す。（各種行事等）
- 「学活」「道徳科」は学期ごと1授業を目安に、子どもが心に残った学習についてワークシート等を残す。

(5)研究のまとめ

教育活動全体を通して、高め合う人間関係づくりと自己肯定感の向上を目指してきた。特に有効だと感じたのは、掲示として可視化する取組である。一人一人の存在感を高め、振り返り意識化することで、子どもは自分の成長を実感することができた。

また、これまで取り組んできた教育活動をキャリア教育の視点で見直すことで、それぞれの教育活動の意義を再確認したり、有効な手立てを考えるヒントとなったりした。また、教員の学級経営力の向上にもつながった。当たり前のことを着実に実践して積み上げていくことを、これからも子どもたちと共に取り組んでいきたい。

